

# H19年度 事業評価シート兼主要施策成果報告書

計画コード	事業名	部名	市民部
19162	戸籍電算化事業	室名	戸籍市民室

成果報告	予算／大事業名	4 戸籍電算化事業			
	予算／中事業名	1 戸籍電算化事業			
		予算額 (円)	決算額 (円)	翌年度繰越額 (円)	不用額 (円)
	当年度事業	200,000	118,230	0	81,770
	当年度への繰越事業				109 ページ
					ページ

<b>1次評価：担当室長</b>		実施	H 20 年 5 月 28 日
①目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	事業実施成果	<p>戸籍電算化セットアップの事業に向けて、先進地視察(5市)及び先進地アンケート調査(8市)を実施した。</p> <p>庁内において、戸籍を電算化するために導入するシステムを適正に選定するため、「亀山市戸籍電算システム選定委員会」を平成19年12月に発足し検討を始めた。</p>
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
③投資効果	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
		反省点・課題	<p>先進地視察では、戸籍電算化事業を進めていく上で、最も実績があるサポート体制のもとで業務を遂行していく必要があり、内容の充実した高性能のシステムを導入できるような業者を選定すべきであることを改めて実感した。</p> <p>アンケート結果では、委託業者によって導入結果に明確な相違があり、システム・サポート体制が不十分であるため、日常業務に支障をきたしている市も見受けられ、慎重な業者選定が必要である。</p>
		改善の方向性	<p>新年度に向けて、業者選定をシステム面、セキュリティ面、専門的知識、サポート体制など、詳細に検討する必要がある。また当初の実施計画どおり進捗できるよう、具体的スケジュールを検討し、円滑に電算化へ移行できるよう、更なる研究が必要である。また、亀山市戸籍電算システム選定委員会においては、各委員からの意見を十分聴取し、慎重な業者選定を実施していくこととする。</p> <p>さらに、戸籍電算化後のデスク配置の検討や、内部業務の見直し等、戸籍市民室内の事務改善を検討していく。</p>

<b>2次評価：庁内委員会</b>		実施	H 年 月 日
①事業の評価結果	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	全体評価	
②事業の課題	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
③事業の改善方向	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
④投資効果	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		

<b>外部評価委員会</b>		実施	H 年 月 日
①事業の評価結果	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	全体評価	
②事業の課題	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
③事業の改善方向	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
④投資効果	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		